

- 問1 明治政府が官営模範工場である富岡製糸場を設立した背景や目的についての説明として、最も適切なものを選びなさい。（2025年 大阪府公立入試 類似）
1. 大規模な鉱山開発を政府主導で行い、銅などの鉱物資源を輸出することで産業革命の資金源を確保しようとした。

2. 欧米から輸入した最新の機械を使い、品質の安定した生糸を大量生産することで、近代化に必要な外貨を獲得しようとした。

3. 民間企業に払い下げを前提として、重工業の発展を主導するための造船技術を海外から取り入れようとした。

4. 日清戦争の賠償金を活用して、軍事力の強化に不可欠な鉄鋼を国内で自給自足できる体制を整えようとした。
- 問2 1894年に陸奥宗光外相がイギリスとの間で調印し、長年の課題であった不平等条約の改正を大きく前進させた内容として、正しいものはどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
1. 領事裁判権を撤廃し、日本国内の外国人に対して裁判権を行使できるようにした。

2. 関税自主権を完全に回復し、日本が自由に輸入関税の税率を決められるようにした。

3. 下関条約により、遼東半島や台湾を領有することを国際的に認めさせた。

4. ポーツマス条約の締結により、樺太の南半分を日本領とすることを確定させた。
- 問3 日本において明治時代後半から大正時代にかけて、産業革命の進展とともに確立された、個人の私有財産を認め、自由な経済活動を基本とする経済体制を何といいますか。（2019年 岡山県公立入試 類似）
1. 社会主義

2. 封建制

3. 共産主義

4. 資本主義
- 問4 自由民権運動の高まりを受け、1881年に「国会開設の詔」が出されると、国会開設に備えて政党が結成されました。フランスの思想の影響を受け、板垣退助を党首として結成された政党はどれですか。（2017年 香川県公立入試 類似）
1. 立憲改進黨

2. 日本社会党

3. 立憲帝政党

4. 自由党
- 問5 明治時代後半、1883年に大阪で大規模な民間紡績会社が設立されるなど、日本の軽工業は急速な発展を遂げました。この時期、紡績工場において綿糸の大量生産を可能にし、日本の産業革命を支えた技術的・社会的な背景として最も適切なものはどれですか。（2016年 広島県公立入試 類似）
1. 電力網を全国に整備し、熟練した男性労働者による手作業を中心とした高品質な製品の少量生産が行われた。

2. 欧米から輸入した最新の工作機械を使い、農村の家内手工業を保護することで輸出を拡大させた。

3. 蒸気機関を動力とする大規模な機械を導入し、女性を中心とした安価な労働力による長時間労働が行われた。

4. 政府が直接経営する官営模範工場を中心に、製鉄や造船などの重化学工業が先行して発展した。
- 問6 19世紀末、日本と清が朝鮮半島の支配権をめぐる争っている様子を描いた風刺画において、橋の上で争う両者の隙を突き、獲物である魚（朝鮮）を横取りしようと狙っている人物として表現されている国があります。この国が不凍港の獲得などを目的として、朝鮮半島や満州への進出を強めた政策を何といいますか。（2017年 長崎県公立入試 類似）
1. 西進運動

2. 南下政策

3. 北進政策

4. 孤立主義
- 問7 明治初期、特権を奪われた士族たちは各地で反乱を起こしましたが、1877年に鹿児島で西郷隆盛を中心として起きた、最大にして最後となった士族の反乱を何といいますか。（2022年 岩手県公立入試 類似）
1. 萩の乱

2. 佐賀の乱

3. 神風連の乱

4. 西南戦争
- 問8 19世紀末の清では、外国勢力の排除を掲げる民衆が北京にある諸国の公使館を包囲する事件が発生しました。この事件をきっかけに、ロシアが清の東北部へ大規模な軍を派遣して占領し、事態が収束した後も駐留を続けたことが、後の日露戦争の大きな要因となりました。この事件の名称と、その後の影響について正しく述べているものはどれですか。（2016年 愛媛県公立入試 類似）
1. 五・四運動と呼ばれ、第一次世界大戦後のパリ講和会議での決定に抗議した民衆が、北京で大規模な反帝国主義・反封建主義を訴えた。

2. 辛亥革命と呼ばれ、孫文らが中心となって清の専制政治を倒し、アジアで最初の共和国である中華民国を成立させるきっかけとなった。

3. 義和団事件と呼ばれ、敗北した清は北京議定書を結び、多額の賠償金の支払いや公使館区域への外国軍の駐留を認めることになった。

4. 太平天国の乱と呼ばれ、キリスト教の影響を受けた民衆が清を倒して理想の国を作ろうとしたが、外国軍や郷勇によって鎮圧された。
- 問9 1885年の内閣制度発足から10年後の1895年、日本が清との戦争に勝利した結果、山口県で締結された講和条約の名称を選択肢から選びなさい。（2021年 徳島県公立入試 類似）
1. 北京条約

2. 日米修好通商条約

3. ポーツマス条約

4. 下関条約
- 問10 明治時代の近代国家建設に向けた動きについて、伊藤博文が行った活動として最も適切な説明を選びなさい。（2023年 福島県公立入試 類似）
1. 地租改正や徴兵令といった大規模な改革を主導し、廃藩置県によって中央集権体制を完成させた。

2. 君主権の強いドイツ（プロイセン）の憲法体制を調査・研究し、内閣制度の創設や憲法草案の作成を主導した。

3. イギリス流の議院内閣制を理想として立憲改進黨を組織し、早稲田大学の前身となる学校を設立した。

4. 民撰議院設立の建白書を提出し、士族授産や板垣退助らとともに自由民権運動を開始した。
- 問11 明治政府が欧米諸国と並ぶ「一等国」を目指して推し進めた近代化政策が、当時の国民生活に与えた影響を説明したもののとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 山口県公立入試 類似）
1. 殖産興業政策によって輸出が急増したため、国民の所得が大幅に上昇し、生活環境が飛躍的に改善された。

2. 地租改正や徴兵令の導入により、農村を中心に生活上の負担が増大し、各地で反対一揆が発生した。

3. 学制の公布により、政府が全ての教育費と施設維持費を負担したため、一般家庭の経済的負担は大きく軽減された。

4. 近代化の成功により不平等条約が即座に完全撤廃されたため、関税収入が増加し、国民の納税額は大幅に引き下げられた。
- 問12 明治時代の文化に関する記述として、最も適切な人物を選びなさい。この人物は、『三四郎』などの近代文学の傑作を数多く執筆した一方で、俳人・歌人として知られ、野球に熱中して「打者」や「走者」といった日本語の訳語を考案した正岡子規とは、学生時代からの親友という間柄でもありました。（2016年 山口県公立入試 類似）
1. 志賀直哉

2. 森鷗外

3. 夏目漱石

4. 芥川龍之介
- 問13 1881年に「国会開設の勅諭」が出され、10年後に国会を開設することが約束されました。この方針に基づき、政府が憲法草案を作成するために行った活動として最も適切なものはどれですか。（2016年 三重県公立入試 類似）
1. 岩倉具視を特命全権大使とする使節団を欧米へ派遣し、不平等条約の改正交渉を最優先した。

2. 西郷隆盛らの不平士族による抵抗を抑えるため、西南戦争の戦後処理を優先させた。

3. 伊藤博文をヨーロッパへ派遣し、君主権の強いドイツ（プロイセン）などの憲法制度を調査させた。

4. 板垣退助を代表として土佐に立志社を設立させ、自由民権運動の士気を高めさせた。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 欧米から輸入した最新の機械を使い、品質の安定した生糸を大量生産することで、近代化に必要な外貨を獲得しようとした。	明治初期、日本の主要な輸出商品は生糸でしたが、手作業による生産では品質にばらつきがありました。政府は「官営模範工場」として富岡製糸場を建設し、フランスから指導者を招いて機械による均一な品質の生糸を増産できる体制を整えました。これにより、海外市場で通用する生糸を輸出し、日本の近代化に必要な資金（外貨）を得ることができました。
問2	答え 1 領事裁判権を撤廃し、日本国内の外国人に対しても裁判権を行使できるようにした。	明治政府は、欧米諸国に認められていた領事裁判権（治外法権）の撤廃を求めて交渉を続け、1894年の日英通商航海条約によってようやくその合意を取り付けました。これにより、日本国内で外国人が犯罪を犯した場合でも日本の法律で裁くことが可能になり、日本の国際的地位が向上しました。なお、もう一つの課題であった「関税自主権の回復」が完全に達成されるのは、さらに後の1911年（小村寿太郎外相の時）となります。
問3	答え 4 資本主義	明治維新以降、政府による富国強兵や殖産興業の政策を経て、日本でも民間企業が自由に利益を追求する経済の仕組みが整いました。特に日清戦争後から日露戦争後にかけて、綿糸などの軽工業から鉄鋼などの重化学工業へと産業の中心が移り変わる中で、この体制が確固たるものとなりました。一方で、この進展は資本家と労働者の格差を生む背景ともなりました。
問4	答え 4 自由党	板垣退助は、1881年に日本で最初の政党である自由党を結成し、その党首となりました。自由党はフランス流の急進的な民主主義思想を取り入れ、農村部を中心に広い支持を集めました。同時期に大隈重信が結成した立憲改進黨は、イギリス流の穏健な議会政治を目指したという違いがあります。
問5	答え 3 蒸気機関を動力とする大規模な機械を導入し、女性を中心とした安価な労働力による長時間労働が行われた。	1883年の大阪紡績会社の設立は、民間資本による大規模な機械工業の成功例となりました。動力に蒸気機関を採用し、安価な女性労働力による12時間交代制などの長時間労働が大量生産を支えました。これが日本の産業革命の出発点となり、軽工業を中心に発展が進みました。
問6	答え 2 南下政策	ロシアは冬季でも凍らない港（不凍港）を確保するため、伝統的に南の地域へと勢力を拡大しようとする「南下政策」をとっていました。日清戦争前後、ロシアは満州や朝鮮半島への影響力を急速に強め、同様に朝鮮半島への進出を狙っていた日本との間で利害が激しく対立することとなりました。
問7	答え 4 西南戦争	明治政府による秩禄処分（家禄の廃止）や廃刀令により、生活の糧や誇りを失った士族たちの不満が爆発しました。かつて維新の功労者であった西郷隆盛を担ぎ上げたこの反乱は、当時の新制軍隊（徴兵された農民兵主体）が士族の軍隊に勝利したことで、武力による抵抗の限界を世に知らしめる結果となりました。
問8	答え 3 義和団事件と呼ばれ、敗北した清は北京議定書を結び、多額の賠償金の支払いや公使館区域への外国軍の駐留を認めることになった。	19世紀末、清では「扶清滅洋（清を助け、西洋を滅ぼす）」を合言葉にする義和団が勢力を拡大し、北京の公使館を包囲しました。清の政府もこれに同調して列強に宣戦布告しましたが、日本やロシア、イギリスなど8カ国の連合軍に敗北しました。その結果、1901年に北京議定書（辛丑和約）が結ばれ、清は多額の賠償金の支払いと、北京への外国軍隊の駐留を認めさせられました。この混乱に乗じてロシアが満州へ軍を送り込み、駐留を続けたことが、満州や朝鮮半島を巡る日本との対立を激化させ、日露戦争へとつながりました。
問9	答え 4 下関条約	1894年に始まった日清戦争は、翌1895年に日本の勝利で終結しました。その際に結ばれた講和条約が下関条約です。この条約の交渉には、日本側から伊藤博文や陸奥宗光、清側から李鴻章が出席しました。なお、ポーツマス条約は日露戦争の、北京条約はアロー戦争の講和条約です。
問10	答え 2 君主権の強いドイツ（プロイセン）の憲法体制を調査・研究し、内閣制度の創設や憲法草案の作成を主導した。	岩倉使節団での経験を経て、日本の近代化には憲法の制定が不可欠であると考え、再び渡欧してベルリン大学などで憲法を学びました。帰国後、天皇を中心とする強力な統治権を認めるドイツ流の憲法草案を作成し、初代内閣総理大臣として近代的な行政組織を整えました。
問11	答え 2 地租改正や徴兵令の導入により、農村を中心に生活上の負担が増大し、各地で反対一揆が発生した。	明治政府は富国強兵を掲げ、地租改正による安定した税収の確保や、徴兵令による近代的な軍隊の創設を急ぎました。しかし、これらは農民にとって重い税負担や貴重な労働力の喪失を意味しており、生活が苦しくなった人々による地租改正反対一揆や血税一揆などが各地で起こる原因となりました。政府の目指す近代化と、国民の実生活の間には大きな乖離があったといえます。
問12	答え 3 夏目漱石	夏目漱石と正岡子規は、現在の東京大学の予備門にあたる学校で出会い、深い友情を築きました。正岡子規が俳句や短歌の改革、そして野球の普及に努めた一方で、漱石はイギリス留学での経験を糧に、近代日本を代表する小説を次々と世に送り出しました。明治時代の文学は、西洋の思想を吸収しながら、日本独自の表現を模索する中で発展していきました。
問13	答え 3 伊藤博文をヨーロッパへ派遣し、君主権の強いドイツ（プロイセン）などの憲法制度を調査させた。	国会開設の勅諭が出された翌年の1882年、伊藤博文はヨーロッパへ渡り、約1年をかけて各国の憲法を調査しました。選択肢にある立志社の設立（1874年）、西南戦争（1877年）、岩倉使節団の派遣（1871年）はいずれも国会開設の勅諭よりも前の出来事です。政府は国会開設に向けた具体的な準備として、日本の国情に合った憲法の体系を模索しました。